

とんぼ公園自然観察会

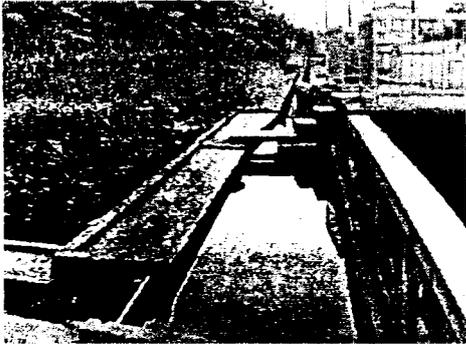
～主役は『わき水』！～

2005年6月5日(日)

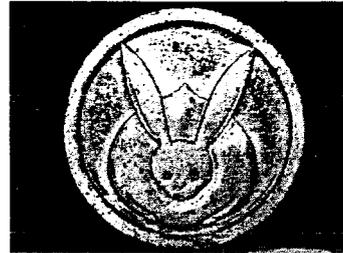
小坂井町小坂井 とんぼ公園 周辺

主催：NPO 法人東三河自然観察会

後援：小坂井町教育委員会



菟足神社下のわき水



この水はどこからくるのかな？
この水とぼくたちはどんな関係があるのかな？

① わき水の水質調査をしてみよう！

わき水は、昔から人々の生活に利用されてきました。
はたして、その水はどのくらい「キレイ」なのでしょう？

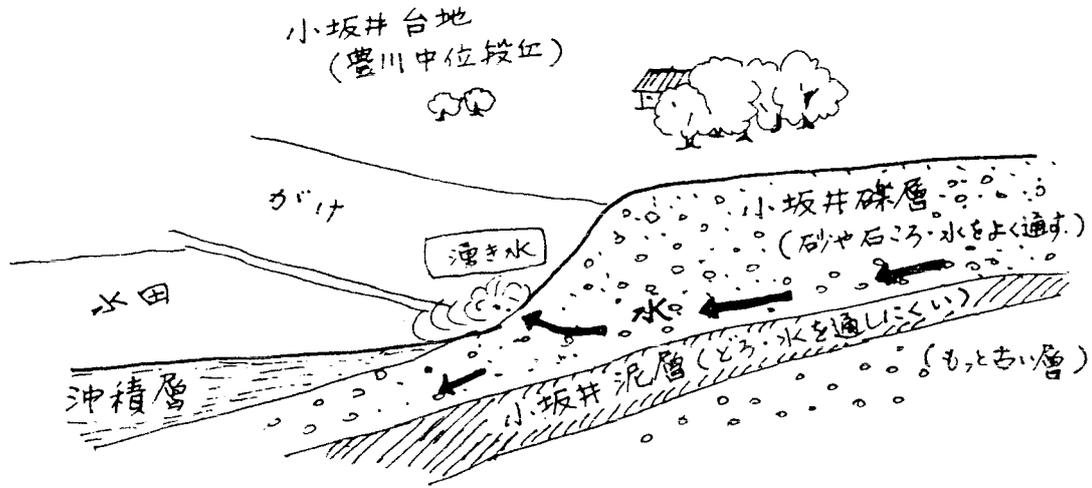
- 見た感じはどうでしょう？
- 実際に水にふれてみましょう。
- 温度計やパックテストを使って調べてみましょう。

水 温	pH 酸アルカリ度	COD 化学的酸素要求量	その他 気のついたこと
℃		ppm	

↑ 水の中の有機物の量のめやすです。

① 湧き水の町・小坂井

小坂井町は、豊川右岸の段丘の上に広がっています。台地と低地の境目からは、水がこんこんと湧き出していました。小坂井、平井などという地名からも水との関わりが解ります。では、なぜ、ここに水が湧くのでしょうか。その仕組みを考えてみましょう。

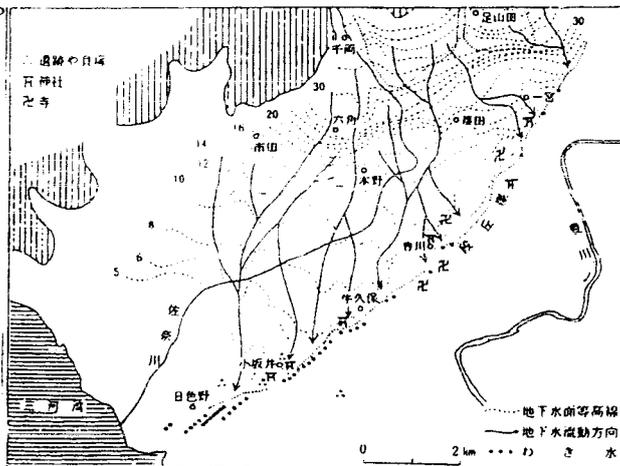


湧き水と人のくらし

数十年前までは、台地のへりの道沿いの水路に透き通った水がとうとうと流れていました。水路のあちこちには洗い場が作られ、野菜の下洗いや洗濯をする人で賑わっていました。農業用水はもちろんの事、共同浴場やプールの水源にもなっていました。

水の湧くところにはお宮も建てられました。台地の端には昔の人の生活の跡が貝塚として残っています。みんな、水を大切にしてきたのです。

しかし、今、湧き水が使われているのは、とんぼ池の上流ぐらいしかありません。枯れ果てた池の跡や乾き切った洗い場の残骸が目につきます。水はどこへ行ってしまったのでしょうか。この図から何か解るでしょうか。



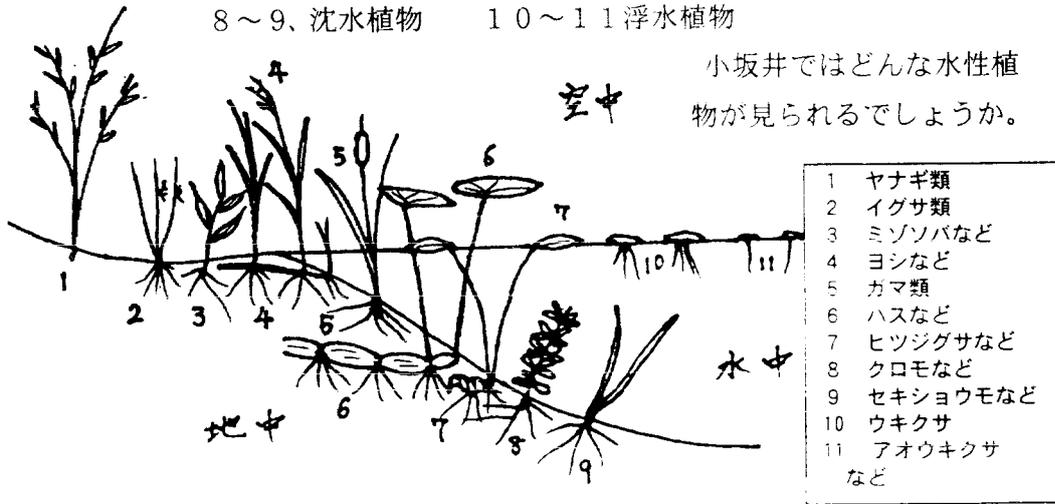
段丘崖下のわき水と遺跡・社寺の分布 (「豊川市史」より引用・加筆)

③ 水辺の植物

水辺の植物は水との関係で下のように分けられます。

1～3、湿性植物（湿地性植物） 4～7、抽水植物（挺水植物）

8～9、沈水植物 10～11 浮水植物



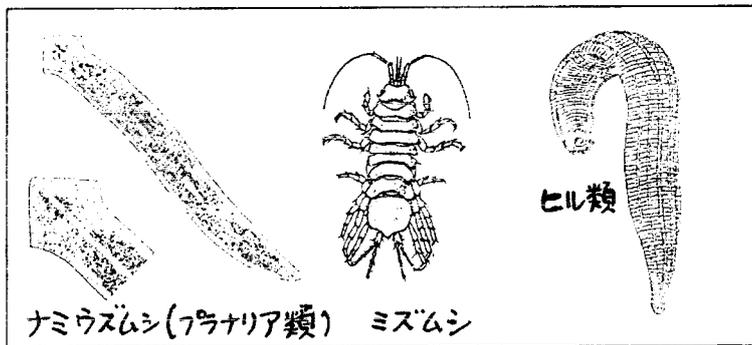
小坂井ではどんな水性植物が見られるでしょうか。

④ 水辺の動物たち

トンボなど昆虫類を除く虫たちを観察しましょう。

何にもいないように見える水路とその中に生えているコケ、そこにはたくさんの生き物たちの世界があります。石の下にもコケの中とは違った世界が見られます。どんな生き物たちの世界が見られるでしょうか。

以下に見られそうな生き物を挙げておきます。いくつ見られるかな？

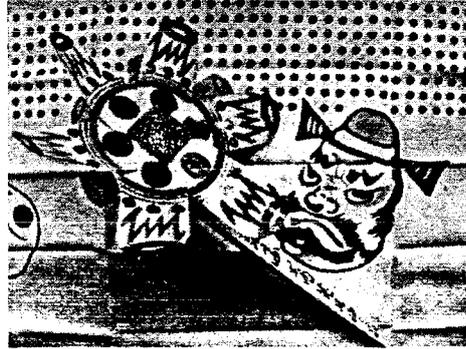
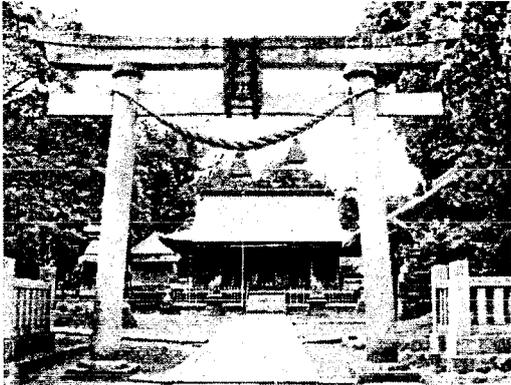


次に、水路や池で昆虫をさがしましょう。

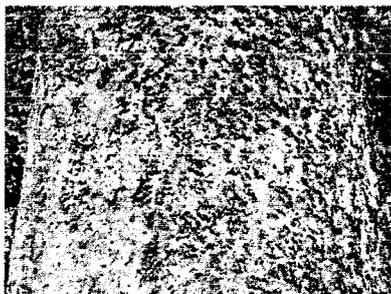
⑤ 菟足神社の『鎮守の森』

ウタリ

『菟足神社』は、西暦686年ごろ創建された由緒ある神社です。初代『穂の国』の国造(クニミヤツ)である『菟上足尼命(ウカミスクネノミコト)』が祀られています。大般若経(国指定重要文化財)をはじめ梵鐘や古面などの文化財でも知られていますが、毎年旧正月7日の「御田祭」や4月第2土日に開催される花火と風車の「風祭」が特に有名です



○境内の大木にも、古い歴史を感じます。どんな木が植えられているのでしょうか。境内の下の地図をみながら、次のような木肌の大木をさがしてみましょう。



①



②



③

地図の中のA、B、Cの木は、上の①②③のどれでしょう？

- A →
- B →
- C →

